

## 和牛日本一に向け地区予選会が開催

5月12日、薩摩中央家畜市場で、10月に開催される全国和牛能力共進会鹿児島大会の地区1次予選会が行われました。種牛の部に52頭の候補牛が出品され、町内の13頭が予選を通過。予選を勝ち抜いた候補牛は、本大会出場を目指し、8月の2次予選会、最終予選会に臨みます。

第12回全国和牛能力共進会  
鹿児島大会ホームページ



体型面や管理面などが審査されます

## 日高さん 旭日双光章を受章

春の叙勲で日高政勝さん（平川）が旭日双光章を受章しました。日高さんは、平成21年から3期12年にわたりさつま町長を務め、ダム・発電関係市町村全国協議会副会長などの要職を歴任し、地方自治の発展や住民福祉の向上に貢献。日高さんは「これまで多くの方々からご支援ご協力をいただきました。支えてくださった方々に心から感謝いたします」と話しました。



町勢発展に尽力した日高さん



左から久保敬作さん、三腰博洋さん、上祐輔さん、福元署長

## 少年補導員へ感謝状贈呈

6月15日、さつま警察署で、10年以上勤続した少年補導員3人に感謝状が贈られました。少年警察ボランティアである少年補導員は、非行少年の早期発見をはじめ、少年に対する保護活動や有害環境の排除などの非行防止活動を日夜行っています。福元俊一署長から感謝状を手渡され、三腰博洋さんは「これからも若者の非行防止に貢献していきたいです」と話しました。



世界的に活躍している鈴木さんの指導を受ける中学生

## 吹奏楽のまちで熱心な指導

5月22日、TAD鈴木吹奏楽セミナー in さつま2022が宮之城文化センターで行われ、町内外の中高校生吹奏学部員や指導者など約200人が参加しました。講師は、日本人初のアメリカ吹奏楽指導者協会正会員の鈴木孝佳さん。基礎的な技術講習を行い、宮之城吹奏楽団をモデルバンドに演奏のポイントを指導。参加者は世界レベルの指揮者から多くの技術を学びました。

## スポーツ賞・社会体育功労者賞を28人、6団体が受賞

町スポーツ協会では、各種大会で優秀な成績を収めた個人、団体を表彰しています。表彰基準は県大会優勝、九州や全国大会で入賞、県代表に選ばれた方や社会体育の振興に貢献した方などです。令和3年度に活躍した方は次のとおりです。（敬称略。学校は令和3年度時点）

### 【スポーツ賞・個人】27人

- ▶ バレーボール：久保文乃（鹿児島南高）、新改星南、新改菜南（東九州龍谷高）、高田美遥（宮之城中）
- ▶ 陸上競技：角井けせら（鹿児島南高）、沖田萌々（神村学園高等部）、藤田貴登（鶴翔高）
- ▶ バドミントン：笹原未羽、中野悠里奈（鶴田小）
- ▶ ウエイトリフティング：富園亮子、今東隼一、泉篤志、下大迫彩夏、宮之下天麻、下大迫優海、荻野修生、日高菜々子、山野さくら（薩摩中央高）

- ▶ ホッケー：鬼塚莉杏、新森晃聖（川薩清修館高）
- ▶ ゴルフ：今村美優（樟南高）
- ▶ ソフトテニス：川内聡一郎（宮之城中）
- ▶ ソフトボール：大工園陽和（宮之城中）
- ▶ 軟式野球：角晃洋（鹿児島育英館中）
- ▶ 硬式野球：西田恒河（樟南高）、太田虎次朗（明豊高）、鍛冶屋成希（鹿児島城西高）

### 【スポーツ賞・団体】6団体

- ▶ 宮之城中女子剣道部
- ▶ 宮之城中野球部
- ▶ 宮之城中男子バレーボール部
- ▶ 薩摩中央高男子ウエイトリフティング部
- ▶ 薩摩中央高女子ウエイトリフティング部
- ▶ 盈進排球団

### 【社会体育功労者賞・個人】1人

- ▶ 吉井達也（町スポーツ協会虎居支部）

## 町茶生産協会が新茶を寄贈

5月27日、町茶生産協会が、新茶110袋を町のPRに活用してほしいと寄贈しました。本町産の茶は生産者などが意見を交換して製造に活かし、香りが高く、甘みがある味わい。会長の領家昭一さんは「今年は気象などが難しい年でしたが、会員一丸となって良い味が出せるよう頑張りました。皆さんに美味しいと言ってもらえると作り甲斐があります」と笑顔で話しました。



領家会長（前列右）から高田副町長に新茶が手渡されました



左から寺脇伸治さん、米森さん、今東清光さん

## 米森さん 地域活性化の功績で受賞

米森十一さん（中津川）が県共生・協働の農村づくり運動表彰功労者部門で県知事賞を受賞しました。米森さんは、金吾様踊り活性化委員会を発足し、伝統行事の復活や継承、地域住民の交流活性化に尽力し、その功績が評価されました。米森さんは「地域の皆さんのおかげで受賞できました。これからも様々な活動を頑張っていきたいです」と話しました。





今月のテーマ



## 気候変動から地球を守るために今すぐ行動しよう

温室効果ガスは地球温暖化を進め、気候変動をもたらし、大雨や干ばつなどを引き起こしています。気候変動を考え、くらしに温暖化対策を取り入れてみませんか。



### 地球温暖化がもたらす影響

人間の活動による温室効果ガスは、海面上昇による土地の消失、大雨による洪水や土砂災害、干ばつによる食糧不足など、世界中で様々な問題の原因となっています。このままだと、2100年には日本の平均気温が3.3～4.9℃上昇し、強い雨の発生回数が2倍以上になり、真夏日が年に49日増えと予想されています。

※環境省「STOP THE 温暖化2017」参照



### こんなことに取り組んでみませんか？

- 自家用車の代わりに徒歩や自転車、公共交通機関を利用する。
- 室温が夏は28℃、冬は20℃になるようにエアコンを使用する。
- 使っていない部屋の電気を消す。
- 運転の際は、ゆっくり加速、ゆっくりブレーキ。
- クールビズやウォームビズに取り組む。
- 省エネ性能に優れた電化製品を選ぶ。

### 株式会社日特スパークテックWKSさつま工場

－ SDGsに取り組んでいます－

日 本特殊陶業(株)グループでは、二酸化炭素の排出量削減だけでなく環境に配慮した製品の開発や普及、従業員のコンプライアンス意識の向上などSDGsに関する様々な取組をしています。我々日特スパークテックWKSさつま工場では、約1,100人が勤務し、月間2,600万個のスパークプラグを製造しています。

このさつま工場でも、再生可能エネルギーで作られた電力の購入やプラスチックごみの削減と再資源化のほか、工場周辺の清掃活動やラグビー部による児童の見守りなどの地域貢献活動もしています。今年の冬には従業員で工場の裏山に350本のサクラを植える予定です。二酸化炭素を吸収しつつ、憩いの場にもなってほしいですね。社内で与えられた使命を果たすだけでなく、CSRの観点から自ら考案し、少しでも地域貢献をしていくことも重要だと考えています。

※CSR  
…企業の社会的責任



山口 益男 副工場長

### まちのニュース

## 盈進小6年 歴史学ぶ春の遠足

5月19日、盈進小学校6年生89人が、春の一日遠足で校区にある史跡を巡りました。児童はグループに分かれて楠木神社や霧島神社、歳久供養塔、宮之城島津家墓所などを訪れ、町文化財ボランティアのさつまガイドから史跡の歴史について説明を受けました。また、5月27日に行われた事後学習では、学んだ歴史をさつまガイドと一緒に振り返り、知識や理解を深めました。



国の史跡に指定されている宮之城島津家墓所



ウォークラリーでは協力して問題を解きました

## 子ども会リーダー研修会

6月4日、白男川地区にあるきららの楽校で町子ども会リーダー研修会が行われました。町内の小中学生35人が参加し、リーダーとしての心構えや安全な活動のためのルールを学びました。また、ウォークラリーやタイダイ染め体験も行い、参加者は「他の学校の友達と助け合うことができ、達成感がありました」と話しました。



タイダイ染めのバッグ

## 薩摩國雇用創造協議会を設立

5月21日、本町と薩摩川内市、阿久根市の3者で薩摩國雇用創造協議会の設立総会を行いました。魅力ある雇用創出や人材確保を目的としたもので、事業者に向けたDX推進のためのセミナーや、求職者向けに女性や高齢者の多様な人材の就労促進を計画。また、両者向けに交渉型のマッチング事業やインターンシップなども計画しています。

※DX…デジタルによって生活やビジネスを変革させること



薩摩川内市役所で行われた設立総会

## 大和フロンティア 竹チップ工場開所

5月17日、町と包括連携協定を結ぶ大和フロンティア株式会社さつま工場の開所式が行われました。同工場では放置竹林を無償で伐採、搬出し、竹チップを製造。同社が開発した、家畜用飼料や肥料となる「笹サイレージ」の原料として出荷します。田中浩一郎社長は「無償で原料を得ることで製品を安価で提供でき、国内の資源を使うことからSDGsにつながります」と話しました。



竹のテープカットで工場の開所を祝福